

ベトナムのスポンサーシップ No3

今回は次の浄水装置設置校でもある Van Tri (バントゥリー) 中学校に通う 12 歳の Hoang Thi Quynh Chi ちゃん（以下チーちゃん）をご紹介します。



チーちゃんにお土産を手渡す本山

の夢は学校の先生です。この町のほとんどの子がそう答えます。学校の先生か医者か農家くらいしか周りに仕事がないのでその答えしか出てきません。家族の収入は全くなく政府から 18 万ドン（約 900 円）で 1 カ月暮らしています。好きな食べ物は何かと聞くとチーちゃんは黙って考え込みました。その様子を見学に来ていたたくさんの近所の方が「そんなこと聞いてもご飯と野菜と魚しか食べた事がないから答えられないわよ」と笑いながら答えました。日本の子どもには当たり前の質問ですがここではそうではないのです。お母さんは明るくて笑顔が絶えない素敵な人でした。近所の人たちもいい人ばかりのようで働くことの出来ないお母さんは近所の家のお手伝いをして食べ物をもらったりしているそうです。チーちゃんにお土産を渡すととても嬉しそうでした。長い間、握手の手を離さなかったお母さんが印象的でした。

現在このチーちゃんのスポンサーを募集しています。是非皆さまのお力をお貸しください。

JIFA では新しく寄付会員制度を設けました。1 円でも 100 円でも子供でも学生でも皆さまの暖かいご支援をお待ちしております。御支援はこちらまで
新宿花園郵便局 記号 10150 番号 98253761
三井住友銀行 新宿通支店 普通 7274362
口座名義 特定非営利活動法人 日本国際親善協会

チーちゃんはお母さんと二人暮らしでお父さんの顔も知りません。コンクリートで出来た小さな家に入るとガスはなく木の枝で火を焚いていました。水は地下水を汲み上げていますが、鉄分が多く水回りはサビだらけです。お母さんは枯葉剤の影響で右目が不自由です。チーちゃんの左目も斜視のような感じです。チーちゃんは恥ずかしいのかおとなしいのかあまり私たちと顔を合せませんでした。元々家はなく今暮らしてるこの小さな家は近所の人から貰ったものだそうです。何をしている時が一番楽しいかと尋ねると一言「勉強している時」と小さくつぶやきました。一番欲しい物はと尋ねると学校に「ずっと通いたい」と言いました。この地域では経済的に困難な家庭では、中学生になると仕事のため学校に通うことがままならなくなることがあります。チーちゃんの将来



チーちゃんの家の炊事場

JIFA ではベトナムの子どもたちのスポンサーを募集しております。年間 1 万円の支援金で、一人の子どもが学校へ行くための費用を賄えます。皆さまからお預かりした支援金は 100%JIFA から直接子供たちに手渡しされます。詳しくはメール又はお電話でお問い合わせください。

特定非営利活動法人
日本国際親善協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-26-6 新宿加藤ビル 7F
TEL 03-3352-3918 FAX 03-3352-3962
E-Mail info@jifa.org HomePage <http://jifa.org/>

JIFA NEWS

特定非営利活動法人
日本国際親善協会

JAPAN INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION

2014/8/22 発行

2014 年夏号 [No.23]

浄水装置 9 号機はバントゥリー小・中学校に設置決定！

3 月 30 日から 4 月 5 日に訪越した JIFA の池田、本山は今年度に支援を予定しているバントゥリー小・中学校や今回の設置予定校であるフォーチャウ小学校、また既に設置を行った 5 校に調査のために訪問しました。3 月 31 日にハーティン入りした池田、本山は現地のボランティアスタッフと共にハーティンの教育局を訪問し今年度より行う学資支援についての説明や協力を要請しました。浄水機設置事業についてもこれからはお互いの情報を交換しながら協力し合うことを約束しました。

その後、今年浄水装置 9 号機を設置する予定のバントゥリー小・中学校を訪問しました。この学校はハーティン省の海側にあたり地下水に塩分と鉄分が多く含まれている地域です。特に鉄分が強く含まれ井戸水の水汲み場はどこも赤茶けています。村の人口は 5 千人で浄水装置をこの学校に設置することで約 1500 人の生徒や先生や診療所の方たちに安全な水を供給することが出来ます。HOA 校長は学資支援のための家庭訪問にも夜遅くまで付き合ってください真剣に生徒たちのことを考えているとても教育熱心な先生です。この村の現状や先生方の熱心などを帰国後報告した結果、9 号機を今年の 9 月の新学期に向けて設置することを理事会で決定致しました。

バントゥリーでは今年度より始まる学資支援の家庭訪問も実施しました。学校が推薦した生徒たちの家庭を一軒一軒訪問し、インタビューしました。重い病気を抱えている生徒や両親がそばにいない生徒など事情はさまざまでしたが、みんな学校が好きで学習意欲のある子供たちでした。ただ好きな食べ物を聞いても食べた事がないからわからないという答えや将来の夢が学校の先生や医者に限定されていたりという、現地に行ってみなければわからない実態を目の当たりにして衝撃を受けました。

4 月 13 日から 19 日にかけて、中迫理事、伊瀬理事、坂下 IPM 事務局長、Duyen IPM 職員で、ハーティン省のキニン小・中学校、カムロック幼・小学校、ダリユー幼稚園、デュクタイン中学校、ティンロック幼小中学校を訪問。校長、教師、子供たちとの再会を果たすとともに、既に設置した浄水装置の管理状況を確認しました。

バントゥリー校では今夏に設置する浄水装置について、村や学校との役割分担について協議し、村も一部費用負担することで、



手紙のお礼を渡して

学校に設置する浄水装置の水を幼稚園、村役場、診療所などの地域の皆さんにも利用していただくことになりました。学資支援については、学校長から推薦のあった対象者の家庭を訪問し、面接を行いました。ベトナム戦争で散布された枯れ葉剤の影響を祖父が受けたために目に障害のある生徒、両親がおらず一人で暮らしている生徒、父親を事故で失ったショックで栄養失調となっている生徒など、学資支援や励ましを特に必要としている子供などの状況を把握することができました。これらの子供たちに、新学期から元気に勉学に励んでもらえるよう、9 月に学資支援金授与を行います。

理事長に池田節子専務理事が就任

5月15日に理事会が開催され、池田正英理事長の辞任を受け、理事の互選により池田節子専務理事が理事長に選出され、就任いたしました。6月5日には、理事会が開催され、そののちに開催された通常社員総会で、25年度事業報告および決算報告ならびに26年度事業計画及び活動予算が承認されました。また、役員任期満了の理事8名及び監事1名が再任されました。事業計画には、ベトナムにおいて学校等へ浄水装置(9号機)を提供するとともに、初めて学資支援を開始し、経済的理由から継続が厳しい就学児童・生徒の支援(年1万円)を行うことなどが盛り込まれました。学資支援の支援者の募集にぜひご協力ください。



今年もベトナムフェスティバルに参加します



昨年9月に初参加しましたベトナムフェスティバルに今年も参加が決定しました。このベトナムフェスティバルは日越文化交流最大の祭典として「食」「文化」「音楽」など様々なベトナムを紹介するフェスティバルです。7回目となる今年は「水上人形劇」などベトナムならではのコンテンツも再現。ベトナムの魅力満載の2日間となりそうです。フォーや春巻きなどのベトナム料理を堪能し素敵な雑貨を手に入れベトナム文化を楽しんでみませんか。アオザイを着てご来場の方には特典もあるそうです。

日時：9月13, 14日 10時～20時

場所：代々木公園イベント広場 *雨天決行

浄水装置9号機・学資支援金贈呈式日程決定

浄水装置9号機及び学資支援のための訪越の日程が決定しました。池田理事長、伊瀬理事は9月5日の贈呈式に向け8月31日に訪越することになりました。今回は初めての試みである学資支援の贈呈もあり子供たちに支援者の方たちからの支援金を手渡しに行くことを今から楽しみにしています。日本大使館の書記官の方も来賓で出席いただく予定です。短い日程ではありますが、ハノイの企業を回って寄付を集めたり、ベトナム国営放送のラジオ局VOVに放送依頼をしたり、前回設置したドンナイ省の学校を訪問したり、ベトナムの雑貨を買付したりと充実した訪越になりそうです。この訪越内容は次回のJIFANEWSで掲載致します。



第1回 JIFA スポーツ・文化交流会開催決定

JIFAでは、クラブディポルディーボエスペランサと共催で、ベトナムと日本の国際親善スポーツ・文化交流会を開催します。小学生を中心としたサッカー交流試合、ベトナムと日本の料理教室や音楽をととして日本とベトナムの交流を楽しく深めることをめざします。東京オリンピック金メダリストの三宅義信さんには、子供から大人までの身体・体力づくりのご指導もいただきます。ベトナム大使館の方や在日ベトナム人のご家族、留学生、日本企業へ技能実習に来ている実習生の皆さんなどもお集まりになります。秋の休日、ご家族連れ、お友達を誘って是非ご参加ください。

日程：平成26年10月25日(土)

場所：八広地域プラザ 吾妻の里

9:30～16:00

〒131-0041 東京都墨田区八広 4-35-17



ベトナム製トンボ”やじろべえ”のしくみ

ベトナムの雑貨屋さんでよく見かけるトンボ。どこにでも止まる不思議な形をしています。

本物のトンボが枝先に止まった姿を眺めていたら、これが実によく似ています。その謎を専門家の方に解説いただきました。

皆様もご存じの「やじろべえ」は2つのおもりが左右のバランスを保つ形をしています。個々のおもりがなす重心が支点の下部に戻ろうとする力よりアンバランス状態からの復元力を生みます。日本でよく見る「やじろべえ」の原理、そしてベトナム製の不思議な形がなすバランスのしくみと、作り方について解説してみましょう。



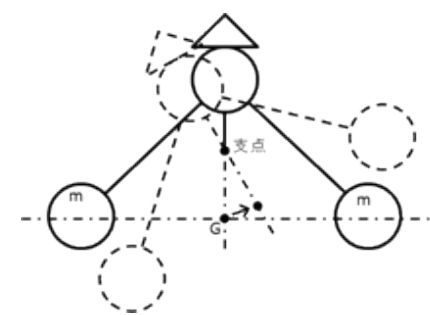
本物のトンボ



ベトナム・トンボ

「やじろべえ」の原理

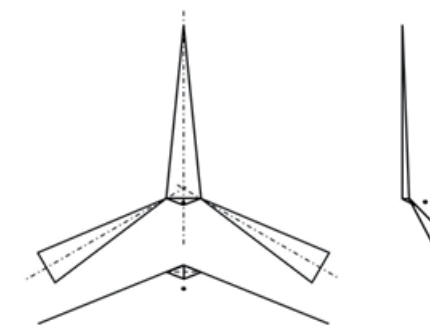
まずは日本の「やじろべえ」を題材にバランスについて簡単に説明をしましょう。



一般的に日本で見るのは案山子のような形です。図中の針金の先端の黒丸のおもさをそれぞれ m とし、上部の案山子や針金は二つの黒丸に比べて非常に軽いとします。このとき「やじろべえ」全体の重心 G は黒い丸の midpoint となります。重心は G で示しています。図中では支点の下部に重心が来るため、この「やじろべえ」は傘の取手を支えたときのように安定します。また、「やじろべえ」を破線のように傾けたとき、重心は支点の真下から離れるとともに少し上昇します。このとき重心は振り子のように元の重心位置へと落下を始めます。この落下力がアンバランス状態からの復元力を生むのです。

ベトナム製トンボ「やじろべえ」の作り方

日本の「やじろべえ」はおもりが二つですが、ベトナムのものはこれが3つになったものと考えればよいのです。ベトナム製「やじろべえ」を簡単に理解するために三角形でモデル化した三面図を下図に示します。



二等辺三角形の形をした $1.6\text{ cm} \times 7.5\text{ cm}$ の本体に、 $1.5\text{ cm} \times 6\text{ cm}$ の羽を2枚付けた構造にしました。羽と本体の角度を 60° し、本体の二つ織の角度を 136° とするとトンボの背から下に約 1 cm 前に約 0.2 cm の位置に重心がきます。この重心位置を●で示しています。このような位置に重心があるので、どんなに傾けても復元力が生じて安定するのですね。

あなたも厚紙を切って作ってみませんか！